



第2回 高知地域部会

- 1 四国コンテンツ連携推進会議の現状
- 2 平成19年度の地域ICTモデル事業
- 3 平成19年度の高知地域部会の活動
 - ・地域コンテンツ連携モデルの検討
 - ・人材育成部会との連携
 - ・その他



1 四国コンテンツ連携推進会議の現状

- 1 各県地域部会
- 2 人材育成部会
- 3 ガイドライン部会
- 4 その他



2 平成19年度の地域ICTモデル事業

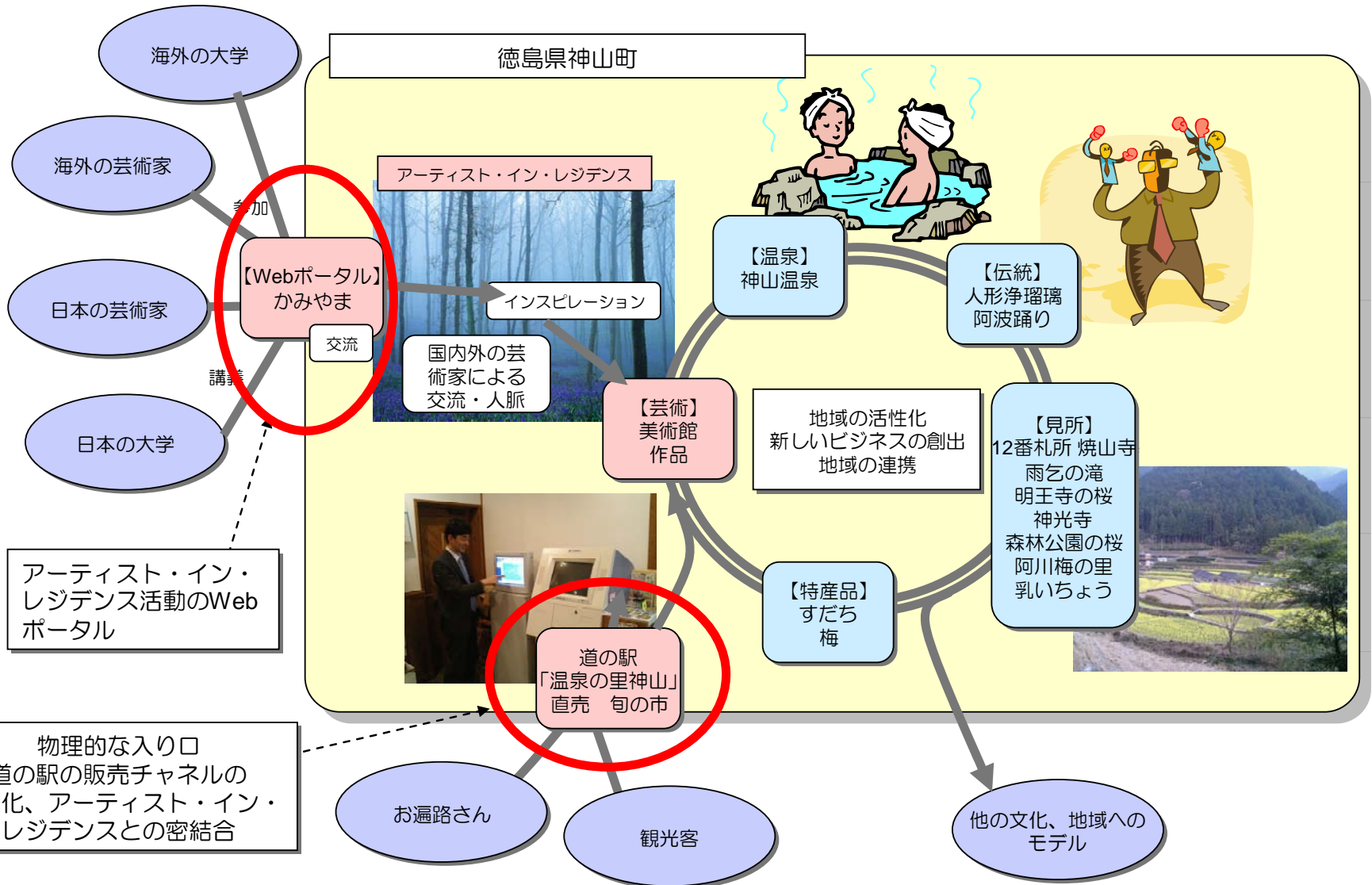
徳島県神山町モデル

愛媛県松山市モデル

高知県津野町モデル

地域 ICT 利活用モデル構築事業イメージ図（徳島県神山町）

特色のあるかみやま国際文化事業を切り口に、観光資源をICTにより結びつけて地域の活性化・振興を目指す。



地域ICT利活用モデル構築事業イメージ図(愛媛県松山市)

公民館を核とし、地域全体で支えあい、ほめあう社会の構築

ステージ1 やりがいの 創出



- ・地域参加ボランティアポイントシステムの開発
(他のカードとの連携など多機能型カードの研究)
 - ・ポイント数による表彰制度や特典サービスの開発
- IC
カード

ステージ2 学びの創出



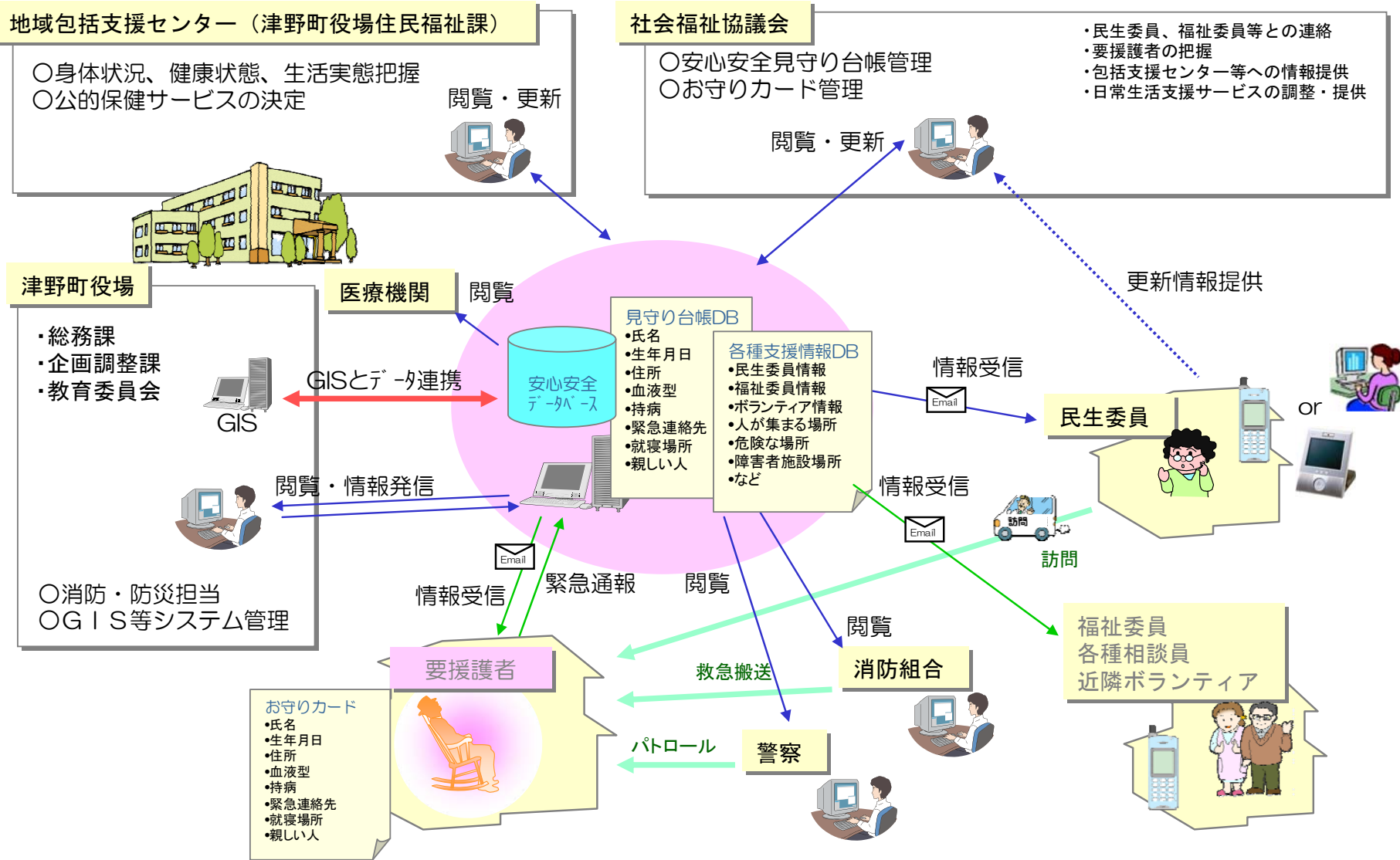
- ・学びコンテンツ選考組織化
- ・コンテンツ素材の収集
- ・コンテンツ制作スタッフの研修
- ・コンテンツ・アーカイブセンターの創設
- ・コンテンツ(動画)配信(eラーニング)システムの開発
- ・テレワーク型コンテンツ制作システムの開発

ステージ3 伝え・知ることの 創出



- ・情報発信手法の標準化
- ・地域広報組織の強化
- ・撮影編集スタッフの研修
- ・動画配信システムの開発
- ・地域情報交流ネットワークシステムの開発

地域ICT利活用モデル構築事業イメージ図（高知県津野町）



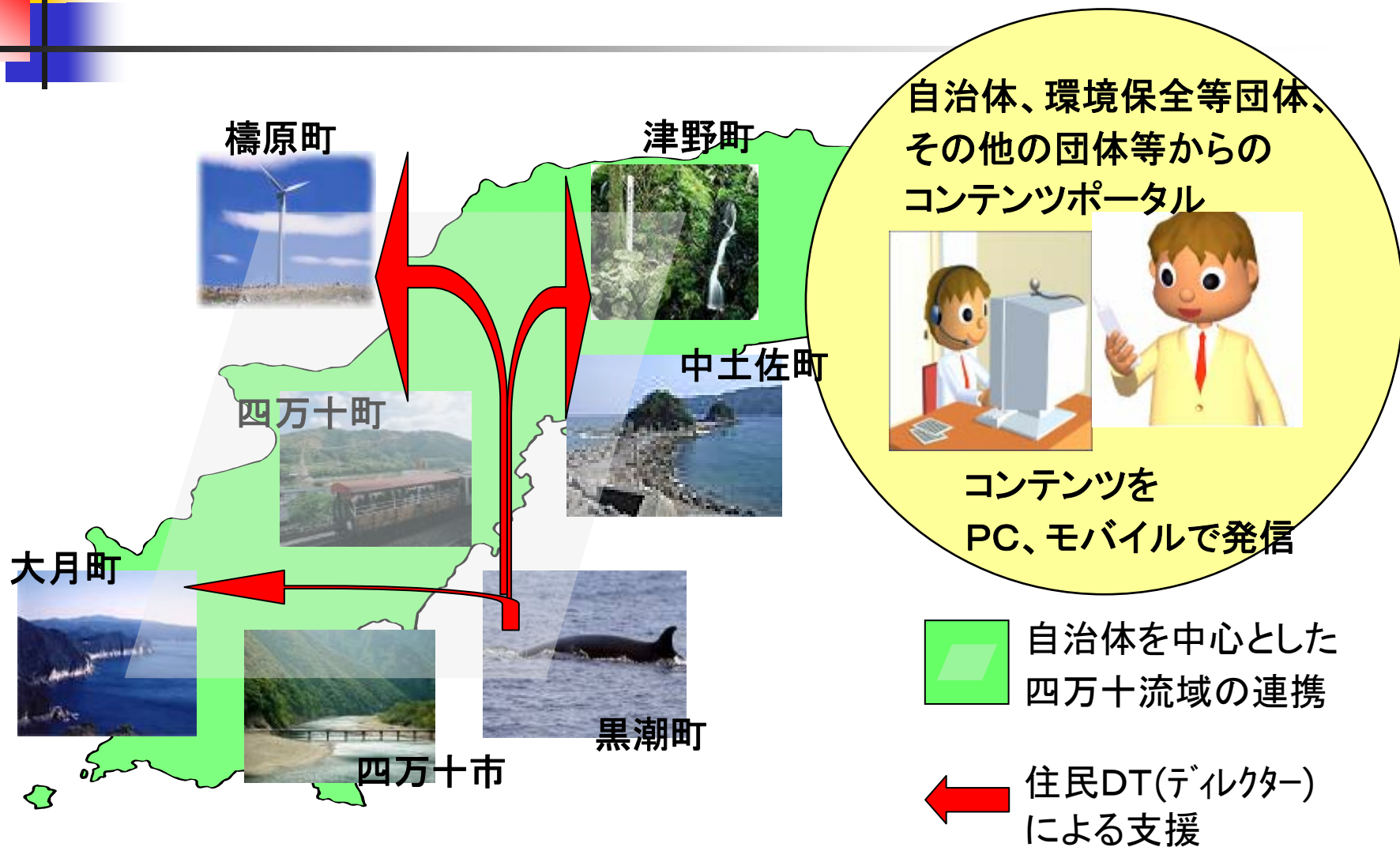


3 平成19年度の高知地域部会の活動

- 1 地域Iコンテンツ連携モデルの検討
 - ・例：高知県西部地区
 - 別紙参照
- 2 人材育成部会との連携
- 3 その他

四万十ダイヤモンドコンテンツ・ネットワーク構想(仮称)

(津野町及び黒潮町の地域ICTモデル事業支援を含む)



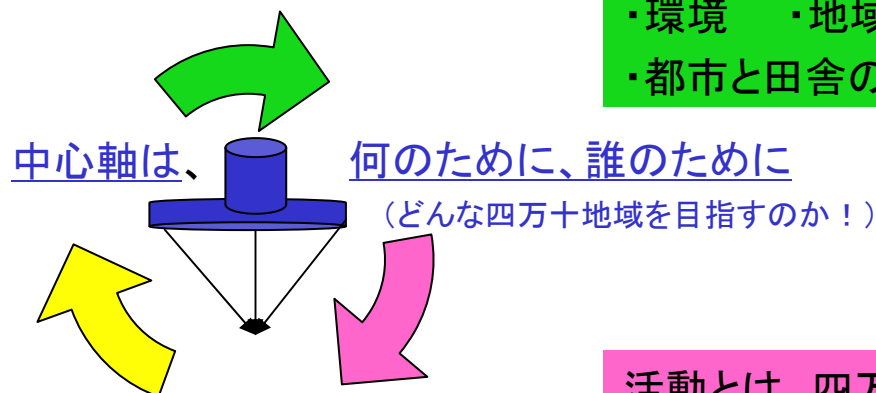
四万十ダイヤモンドコンテンツ・ネットワーク構想(仮称)

基本的な考え方

ダイヤモンドコンテンツとは、この地域には、ピカッと光るコンテンツが数多くある。この地域が何時までも輝き続け、住む人、来る人に永遠にダイヤモンドのような輝きを与えて欲しいことを願って命名。ダイヤモンドのように光るには、苦労も多い。

- ・自然
- ・名勝、旧跡、歴史物等
- ・環境保全の取り組みや成果
- ・教育方法や教材等
- ・伝統文化、特産品情報
- ・様々な体験

②効果^が活動
を活発化させ



①コンテンツ
流通^が効果を
生み

③活発化した
活動^が新たなコ
ンテンツを生む

四万十コンテンツの流通

- ・第一次産業の活性化
- ・観光 ・地域経済
- ・環境 ・地域文化の伝承
- ・都市と田舎の交流促進

活動とは、四万十それぞれの地域が、〇〇を目指して取り組む活動

- ・四万十川等の環境保全
- ・四万十の特産物
- ・四万十の観光、遊び及び学びづくり
- ・四万十の生活体験づくり等